

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2021年 1月 21日作成 第 1版

研究課題名	術中デキサメタゾン投与が全身麻酔術後のシバリング発生に与える影響の検討
研究の対象	2012年4月1日から2021年1月31日までに、横浜市立大学附属市民総合医療センターで全身麻酔手術を施行された患者さんを対象とします。
研究目的 ・方法	全身麻酔後のシバリング(震え)は周術期にしばしば認められる不快な合併症であり、患者さんの5~65%に発生します。シバリングは酸素消費量を増加させる可能性があり、心筋虚血を誘発する可能性があるため、その予防は周術期管理上重要です。この研究は、術中のデキサメタゾン投与がシバリング予防効果を有するかを明らかにすることを目的としています。研究方法としては、診療録や麻酔記録から情報を収集し、統計解析を行います。
研究期間	西暦 2021年 3月 11日 ~ 西暦 2022年 12月 31日
研究に用いる 試料・情報 の種類	以下に記載される日常診療で実施された項目を本研究で使用します。新たな検査や採血を行うことはありません。 1) 一般情報：年齢、性別、身長、体重、手術年月日 2) 手術関連情報：診療科、診断名、術式、手術部位、体位、手術時間 3) 麻酔関連情報：ASA-PS分類、麻酔方法、使用麻酔薬、区域麻酔の有無、麻酔時間、手術時間、輸液量、輸血量、出血量、尿量、デキサメタゾン投与量、フェンタニル投与量、レミフェンタニル投与量、ペチジン投与量、アセトアミノフェン投与量、NSAIDs投与量、術中最低体温、手術終了時体温、術後シバリング発生の有無 4) 併存症 喫煙歴、糖尿病の有無、内服薬（ステロイド）
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 麻酔科（研究責任者）佐藤 仁 電話番号：045-261-5656（代表） 電話番号：045-253-5355（医局直通）FAX：045-253-5705（医局直通）</p>	